

和歌山県立串本古座高等学校

広報くしこざ

編集：発行：串本古座高等学校地域協議会

INDEX

- ・令和5年度8月～令和5年度12月のトピックス 1～6
- ・地域協議会 6～



令和5年度2学期の動き

8月

○ 宇宙探究コースの学校見学会



8月19日、来年度から開設される宇宙探究コースの説明会を実施しました。特別ゲストとして東京大学大学院の中須賀真一先生をお迎えし、「未知なる世界に挑戦しよう!」と、全国から来た参加者へ激励のメッセージを送っていただきました。

今回のメインイベントは、宇宙を学ぶ体験授業です。飛行機はなぜ飛ぶのかの話を聞いた後に、空力翼艇を実際に作って飛ばしてみるワークショップを行いました。

見学会の後は、潮岬望楼の芝で天体観望会も実施しました。薄曇りの中でしたが、月のクレーターや土星の輪を観察することがで

き、望遠鏡を覗いた子供達からは「すごーい!」と歓声が上がっていました。

○ 宇宙シンポジウム in 串本



8月20日、ホテル&リゾート和歌山串本を会場に、今回で5回目となる「宇宙シンポジウム in 串本」が開催されました。国内初の民間ロケット発射場を有する串本に日本を代表する宇宙関係者が集まり、宇宙を語り

合イベントですが、本校生徒も運営や本校教育活動の発表で毎年関わっています。会場内には串本古座高校のブースも設置し、学校のアピールもしました。

今回のテーマは「宇宙と教育」。串本古座高校のみならず、県内各地から宇宙に興味のある中高生も多く参加しており、登壇者からは「失敗した経験を活かして次のチャレンジにつなげていくこと」や「過去の自分は将来の自分が正当化してくれる」など、未来を担う若者たちに対する暖かいエールを多く送ってくださいました。

9月

○ 串本デュアル



本校では、学校の授業で学習したことを仕事現場で活用したり、改めて仕事現場で学んだりできるように、学校設定科目「串本デュアル」でデュアル・システムを取り入れています。デュアル・システムとは、学校で授業を受けながら仕事の実習を受ける制度のことです。

9月上旬から11月下旬の長期にわたり、町内の各事業所に協力いただきながら就業体験に取り組んでいるところです。

協力事業所

- ・ 社会福祉法人 串本福祉会（にしき園）
- ・ 串本町立くしもとこども園
- ・ 串本町 B&G 海洋センター
- ・ 串本町役場
- ・ 弁天前定置水産株式会社
- ・ ACN 南紀串本リゾート大島
- ・ 株式会社 USP JAPAN

○ スペイン訪問団との交流



世界文化遺産「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路」を有するスペイン・ガリシア州と、同じく世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を有する和歌山県は、1998年に姉妹道提携を締結して以降、文化交流を続けています。

9月4日にはスペインから20名の若者が本校を訪れ、本校ならではの宇宙の学びを体験しました。当日の天候はあいにくの荒れ模様であり、急遽教室内でバルーンロケット

と一緒に製作して飛ばす等の変更がありましたが、たいへん盛り上がりました。お別れの際には SNS のアカウントを交換するなどし、別れを惜しんでいました。

○ 航路標識協力団体の活動

本校は航路標識の維持管理等の活動を自発的に行う「航路標識協力団体」として、国内の高校で唯一海上保安庁から指定を受けており、維持管理と合わせて定期的に灯台内部を一般公開しています。9月16日には、CGS部の活動として灯台を訪れた皆さんに灯台の内部を案内しました。



10月

○ 体育行事





本気で競技に向かって全力で勝利を目指す姿に串本古座高校生の底力を垣間見ることができました。

○ 交通安全教室

10月16日に串本中学校と合同で交通安全教室を実施しました。スタントマンによる事故現場を再現したスケアードストレイト技法により、自転車事故の原因や事故を避ける方法について具体的に考えることができました。



○ 宇宙出前授業



10月12, 13日に体育行事が実施され、縦割りのブロックとクラスごとのチーム編成を織り交ぜた対抗戦が行われました。準備や片付けを含め、一人一人の生徒がみんなで体育祭を盛り上げていこうという姿勢で臨み、

宇宙やロケットのことについて関心を持ってもらうための宇宙出前授業が盛況です。本校の藤島先生がJAXAでの勤務経験を活かし、地域のこども園や小中学校へ出向いて行っています。10月は串本小学校・三尾川小学校・串本町民運動会等に出向き、景気よく水ロケットを飛ばしてきました。

11月

○ 文化祭



コロナ禍を経て、ようやく保護者の皆さんにも参観いただける文化祭が実施できました。食品バザーの復活や、有志生徒による串本祭りの披露など、大いに盛り上がりました。全力を出して行事を盛り上げようとする生徒たちの努力が結実した文化祭でした。

○ 宇宙出前授業

京都産業大学理学部の河北秀世教授が来校され、宇宙と運動の不思議を考える出前授

業を実施していただきました。1年生を対象にした授業では「宇宙での船外活動中、離れてしまった宇宙ステーションに戻るにはどうすればよいか？」という河北先生から出された問いにどう答えるかを考えました。「なぜ」と疑問を持つことから学びを深めていくことの大切さに気づかされた出前授業でした。

○ 柚子の収穫体験



学校設定科目「南紀食文化探究」では、古座川町に伝わる郷土料理を学んでいます。地域に伝わる「うずみ汁」の調理実習や「ゆずの里 平井」での柚子収穫体験など、授業を通して豊かな地域資源の再発見をすることができました。

12月



○ 修学旅行



12月13～15日の日程で2学年が東京方面へ修学旅行に行ってきました。

1日目：グループ毎の自由研修

2日目：東京ディズニーランド

3日目：チームポプラネッツ&日本科学未来館

飛行機に乗ったり、迷いながら大都会の電車を乗り継いだり、人生初めての経験も

いっぱいあり、高校生活最大のイベントを大いに満喫しました。

○ 乗船実習



3年生の学校設定科目「水産生物探究」で、海上保安庁協力のもと巡視船の乗船実習を行いました。普段は陸側からしか景色を見ることがありませんが、海から串本の町を眺める貴重な機会をいただきながら、きれいな海を守ることの大切さを改めて再認識しました。

○ くしもとランタンナイト





橋杭海水浴場園地で行われたイルミネーションイベントの企画、運営、準備、片付け等に本校生徒が大活躍しました。本番はあいにくの雨でしたが、地域の人たちと共に町を盛り上げる機会を持つことができました。



23 組が学校見学に来校

「宇宙探求コース」が新設される串本古座高校へ、県外から23組が見学に来てくれました。内訳は「随時受付の学校見学」に11組、「宇宙に特化したオープンスクール」に11組、「従来のオープンスクール」に1組でした。東京都、神奈川県、千葉県など関東圏から、そして愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、三重県、鳥取県、新潟県などからも見えています。やはり「宇宙探求コース」に関心があるようで、中学1年生や2年生の生徒の参加も見られました。「随時受付の学校見学」で来校した方々の

一番の心配は、保護者の元を離れての一人暮らしとなるので、「食事」と「ケガや病気」でした。

全国募集生徒の『地域』体験

○釣りに行きました

1月の温かい日曜日、堺市から来た生徒と樺野釣り公園へ釣りに行ってきました。

生徒は持ち帰った魚を自分で調理して食べたそうです。自分で魚を調理できるのはすごい「特技」だと思います。釣りは串本における主要な「遊び」のひとつです。しっかり勉強してしっかり遊んでほしいと思っています。（コーディネーター）



きれいな海（釣り公園）で釣れた魚は美味しかったです。
ウスバハギ・・・
煮付け、鍋
真鯛・・・・・・
鯛めし

宗野優太（堺市出身）

○今年もポンカン収穫

伊串の農家で今年もポンカン収穫体験を



させてもらいました。枝から切ったポンカンコンテナいっぱいに入れて一輪車

で運びました。

一輪車を押すのは初めての体験で、しかもたくさんのポンカンですごく重く、思い



通りに動かなくて苦労しました。帰りにたくさんのポンカンをおみやげにいただきました。

家で食べてみるとすごくおいしかったです。大変でしたが、めったにない体験ができて、とても楽しかったです。

渡辺はるか（神戸市出身）

「くろしお塾」通信

～生徒と一緒に聴講しました～

○「豊かな自分づくり」を支援する「地域みらい学」

1月、くろしお塾にて「地域みらい学」第3弾が実施されました。今回は「人と関わる仕事～広がる世界～」と題して、和歌山信愛大学から森下順子教授・くしもとこども園から谷かおり副園長をお招きしました。人と関わる仕事をしていく上で大切なことや、串本町の子育ての現状について、専門的な視点・現場での視点を交えて話をしてくださいました。

生徒は、将来保育系の分野に進みたい生徒を中心に、教育系・看護系に興味がある生徒も参加しました。学校教育ではまず学ぶことができない教育心理的なお話や、現役保育士の現場ならではの経験談は、生徒にとって、今後の学びを想像するきっかけとなったことと思います。



【森下教授と車座になって懇談】

また、お茶やお菓子を囲んでの第2部は、保育園での遊びや串本の子どもたちのお話で、笑顔があふれる和やかな懇談となりました。谷副園長は、長くこの串本町で保育に携わっていることから、生徒たちの昔話にも花が咲きました。

くろしお塾では「地域みらい学」を、普段はなかなか考えることができない分野に気軽に触れることができる場と位置付けているようで、今後も期待しています。

串本古座高校教諭 町田一葉

いよいよカイロス打ち上げ！

串本古座高校の藤島です。皆さん、いよいよ待ちに待ったカイロス（KAIROΣ：Kii-based Advanced & Instant Rocket System）が打ち上げられます！

日本の民間宇宙企業スペースワン株式会社は、2024年1月26日、カイロス初号機の打ち上げを2024年3月9日に行うと発表しました。カイロスはここ串本町の「スペースポート紀伊」から発射される予定です。

どう思いますか！？今までロケットと言えば、日本の中でも限られた場所かつ人里離れた場所で打ち上げられてきましたが、ついに串本町から宇宙へ向かって飛んでいく！興奮せざるを得ませんね！串本町が「ロケット最先端の町」となる瞬間がホントに目前です。

このスペースワンが開発したカイロスは、全長約18m・直径1.35m・重量約23tonの3段式固体燃料ロケットで、4段目として液体燃料を使用する軌道修正を行うためのキックステージを搭載します。打ち上げ能力は軌道傾斜角97度・高度500kmの太陽同期軌道に重量150kg、軌道傾斜角33度・高度500kmの地球低軌道に重量250kgとされています。



写真提供：スペースワン

2020年代に年間約20回の打ち上げを目指すそうで、串本古座高校でみんなが開発した超小型衛星と夢と希望を載せたカイロスが宇宙へ飛んでいく日もそう遠くはありません。まさに宇宙時代の到来と言えましょう。



写真提供：スペースワン

「宇宙探究コース」いよいよ開設！

串本古座高校宇宙探究コースで3年間しっかりと宇宙を学び、その後、宇宙を学べる大学でもどっぷり宇宙に浸かって勉強して、そして串本町に戻って就職してほしい、そんなことを考えています。だって、その頃は串本町に宇宙関連産業が根付き、有望な人材募集中！となっているはずですから。今回の打ち上げも、そして今後の打ち上げもしっかりと応援しましょう！カイロスの音がすごい！成功を祈る！

串本古座高校教諭 藤島 徹（元JAXA）